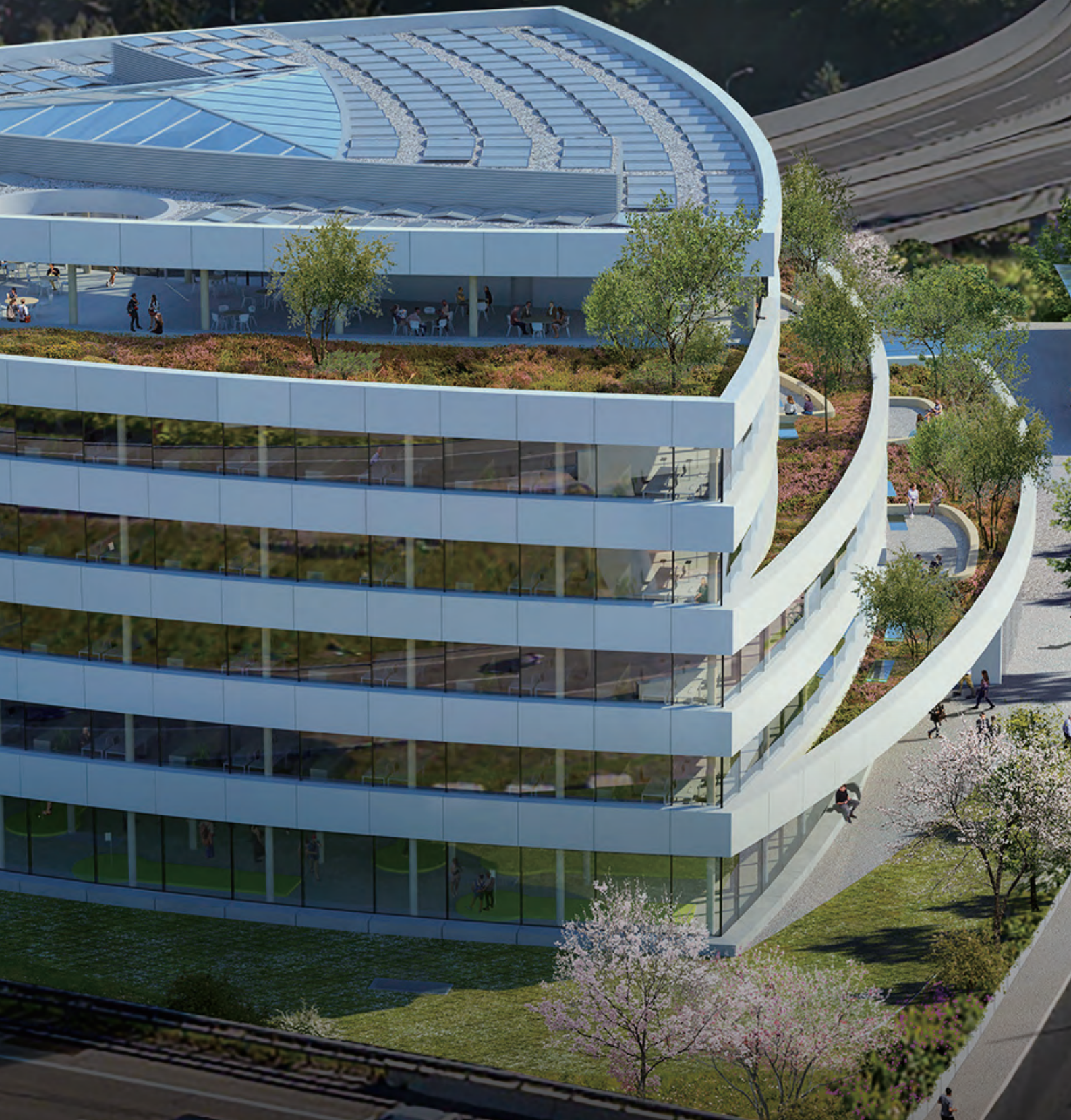


VECTORWORKS® 2023

ベクターワークス総合カタログ



WHAT IS VECTORWORKS

設計者は誰も時間を求めています。

バージョン2023では、より少ないステップであらゆるものをモデリングでき、オペレーションはさらに自動化されました。

また、コラボレーションの方法が増えたことによって、

みなさんのワークフローは加速され、生産性の最大化に貢献するでしょう。

時間は作れませんが、節約のお手伝いを。

設計者のワークフローを加速する **Vectorworks 2023.**

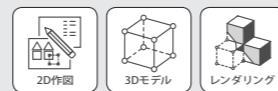
Vectorworks Lineup

Vectorworks 2023は、汎用作図機能を搭載した基本製品のFundamentals(ファンダメンタルズ)、BIM対応の建築・インテリアデザイン向け製品のArchitect(アーキテクト)、ランドスケープデザイン向け製品のLandmark(ランドマーク)、ステージ&ステージライティングデザイン向け製品のSpotlight(スポットライト)、そして全製品の機能を搭載した最上位製品、Design Suite(デザインスイート)の5製品のラインアップをご用意しています。



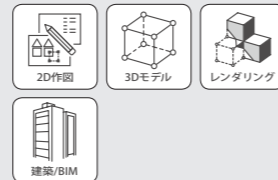
Vectorworks 2023 シリーズの基本製品 Vectorworks Fundamentals

Vectorworks Fundamentalsは、2D/3D汎用作図機能に、プレゼンボード作成機能や図面と連動できる表計算機能など、数多くの基本作図機能に加え、高品質レンダリング&3Dビジュアライズ機能を搭載したVectorworksシリーズの基本製品です。



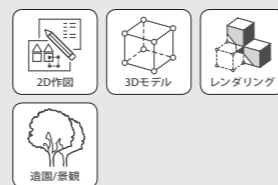
BIM対応の建築設計、インテリアデザイン支援機能を搭載した建築/内装業界向け製品 Vectorworks Architect

Vectorworks Architectは、建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的なBIM・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。



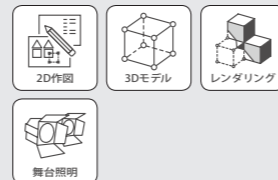
都市計画・ランドスケープデザイン支援機能を搭載した都市計画/造園業界向け製品 Vectorworks Landmark

Vectorworks Landmarkは、地形モデルや多彩な植栽、灌水設備計画等に対応するランドスケープデザイン支援機能、さらには豊富な造園向けのデータライブラリを搭載した都市計画/造園業界向け製品です。



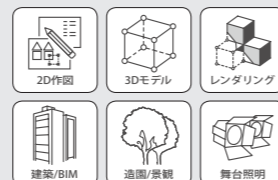
ステージデザイン・舞台照明計画支援機能を搭載したエンタテインメント業界向け製品 Vectorworks Spotlight

Vectorworks Spotlightは、ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能、さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンタテインメント業界向け製品です。



すべての設計支援機能を搭載した最上位製品 Vectorworks Design Suite

Vectorworks Design Suiteは、基本となる2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ機能に加え、BIM・インテリア設計支援機能、ランドスケープデザイン支援機能、舞台照明計画支援機能のすべての設計支援機能を搭載したVectorworksシリーズの最上位製品です。



機能

基本機能

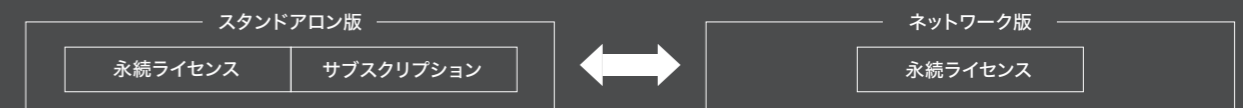
Vectorworksは2D作図、3Dモデリング、高品質レンダリング機能を標準搭載しています。どのパッケージを購入しても、図面の作成から3Dモデル生成、レンダリングパース、プレゼンボードの作成までをVectorworksだけで完結することが可能です。

作図管理

建具や寸法線などをクラスで、各フロアの図面をレイヤで管理することで、複雑な図面の修正や確認作業を効率的に行えます。複雑な図面も、クラスとレイヤで表示/非表示/グレイ表示の3つの表示方法を切り替えることができるため、必要な情報だけを表示させるなど、効率的な作図が可能となります。

製品タイプ

運用状況によって、製品タイプをスタンドアロン版とネットワーク版から選択可能



オフィスのデスクトップパソコンと外出用パソコンの2台で使用する場合はスタンドアロン版がおすすめです。

サーバーで同時に使用できるライセンス数を一元管理できるため、日々のライセンス使用状況を見ながら効率良くライセンスの運用が可能です。

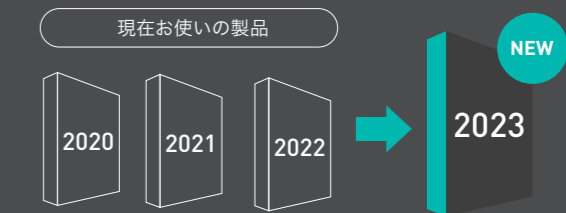
▶ 詳しくはP3をご覧ください

より使いやすく

バージョンアップサービス

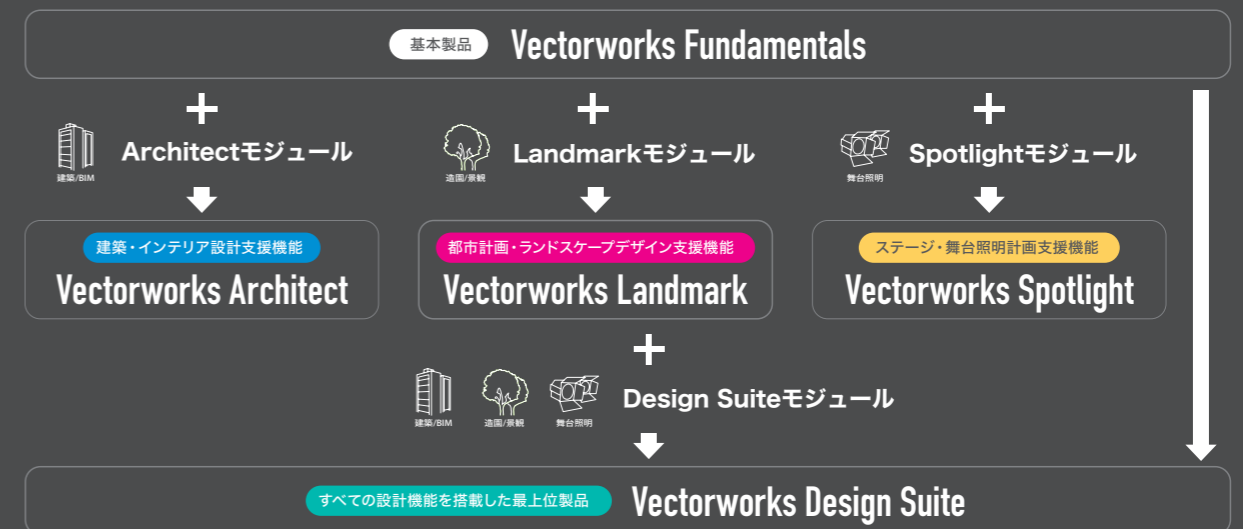
現在お使いの旧バージョンのVectorworksを最新版へバージョンアップできるサービスです。バージョンアップ対象はVectorworks 2020/2021/2022をお持ちのユーザーとなります。設計・デザイン環境が大きく向上した最新バージョンを是非ご検討ください。

「バージョンアップのご案内」をお送りしています。対象ユーザーで「バージョンアップのご案内」が届いていないお客様は、お手数ですが弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。



モジュールを追加して上位製品へグレードアップ

モジュール製品は、現在お使いのVectorworksを上位製品にグレードアップできるサービスです。モジュールの追加には最新バージョンが必要となります。旧バージョンをお使いの場合は、Vectorworks 2023へのバージョンアップが必要になります。



PRODUCT TYPES

利用環境で選択できる製品タイプ

Vectorworksはご利用の環境、運用状況にあわせて、スタンドアロン版とネットワーク版の2種類の製品タイプからお選びいただけます。

インストールプログラムは専用サイトからのダウンロードが必要です。



詳しくはこちらから
<https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/types.html>



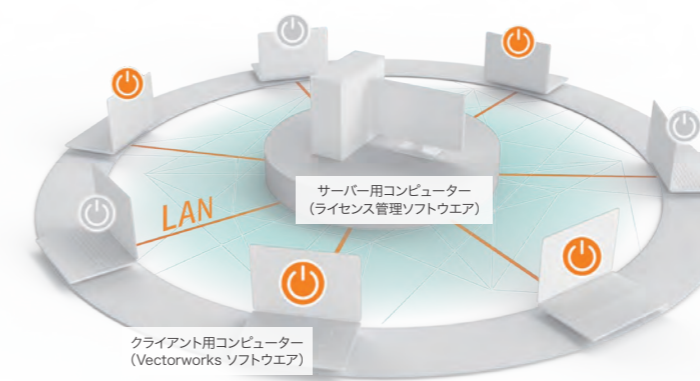
Vectorworks 2023 スタンドアロン版



Vectorworks 2023スタンドアロン版はインターネット経由でライセンス認証してVectorworksソフトウェアを使用することができます。1ライセンスで2台のマシンにインストール可能で、場所を選ばず外出先などでも作業がはかどるだけでなく、導入後のメンテナンスも容易になるため、時間やコストの削減が期待できます。1ライセンスから購入可能で、オフィスと外出用パソコンの2台持ちでの利用、リモートワークにおすすめです。

インストール可能台数	1ライセンスで2台のパソコンにインストール可能 ※ 同時稼働はできません
起動認証	インターネット経由のアクティベーション ※ 90日間はネットワークから切り離して利用可能
ライセンス管理方法	インストールするパソコンごとにライセンス管理
その他	・ インターネット接続環境が必須 ・ 正式シリアル発行はユーザー登録が必須
購入単位	1ライセンスから購入可能
利用シーン	・ オフィスと外出用パソコンの2台持ちで利用したい ・ リモートワーク ・ 個人の設計事務所

Vectorworks 2023 ネットワーク版



Vectorworks 2023ネットワーク版は、サーバー/クライアント形式でライセンスを管理し、Vectorworksソフトウェアを使用することができます。サーバー用コンピュータ上のVectorworks Site Protection Server (以下、ライセンス管理ソフトウェア) が同時稼働するライセンス数を管理し、クライアント用コンピュータで、必要な時に、ライセンス管理ソフトウェアからライセンスを取得してVectorworksを起動することができます。

インストール可能台数	インストール台数の制限なし ※ 同時稼働数をサーバーで管理
起動認証	同一LAN内のサーバー用コンピュータでの認証 ※ 最長30日間のライセンス持ち出し機能が利用可能
ライセンス管理方法	サーバーでライセンス一括管理
その他	インターネット経由のアクティベーション
購入単位	5ライセンスから購入可能 ※ 追加ライセンスは1本から購入可能
利用シーン	・ 複数の部署間で共同利用 ・ サーバーで全ライセンスを管理したい ・ 学校のパソコン教室など

スタンドアロン版のもう一つの選択肢 Vectorworks サブスクリプション

Vectorworksサブスクリプションなら「必要なときに」「必要な種類」の「必要な期間ライセンス」をご利用いただけます。

詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/subscription/



サブスクリプションは、導入コストを抑えながらVectorworksのライセンスを維持するための費用対効果の高い方法です。トークンを1つ購入して使用すると、サブスクリプションは12か月間有効になります。サブスクリプションは1年間で自動的に終了しますが、トークンを追加することでいつでも簡単に使用期間延長ができます。必要なときに、必要な種類のライセンスをお求めいただける「期間利用ライセンス」のプランです。

■ 期間限定プロジェクトでの利用が可能

サブスクリプションライセンスは期間利用のライセンスです。プロジェクトでスタッフを一時的に増員し、Vectorworksを利用しなければならぬときなどに有効です。コストを抑えながらの導入が可能で、必要なときに必要な種類のライセンスをお求めいただけます。

■ 製品バージョンを選んで利用が可能

プロジェクトや取引先に合わせて、Vectorworksの最新バージョンから3つ前のバージョンまでの内1つのバージョンを選んで利用が可能です。

■ 永続とサブスクを組み合わせた導入が可能

Vectorworksの永続ライセンスは引き続きご提供します。短期利用を目的としたサブスクリプションライセンスと組み合わせることで、お客様のご利用プランやシーンに合わせて導入が可能です。

■ Vectorworks サブスクリプションと永続ライセンスの主な違い

種類	サブスクリプション	永続ライセンス	
利用期間	1年間(12か月)	永続	
ライセンスタイプ	スタンドアロン版	スタンドアロン版 / ネットワーク版	
価格税別	Architect Landmark Spotlight	245,300円	490,600円
	Design Suite	306,350円	612,700円
バージョンアップ	無償(ライセンス期間中)	有償(バージョンアップ対象は3バージョン前まで)	

※表記価格は消費税を含んだ税込価格です。

Design Suite, Architect, Landmark, Spotlightの4つのプロダクト製品にサブスクリプションライセンスをご用意しています。Fundamentalsのサブスクリプションライセンスのご提供はございません。

ネットワーク版ライセンスとは

ネットワーク版ライセンスの特長

特長 1 購入ライセンスは同時稼働数のみ

ネットワーク版はインストール台数の制限はありません。同時稼働ライセンスの数以上のパソコンにVectorworksをインストールでき、フローティングライセンスでの運用が可能です。OSはWindows、Macいずれも可能です。

特長 2 6ライセンスからボリュームディスカウントが適用

6ライセンス以上からボリュームディスカウントが適用されます。価格については、P.22「製品価格一覧」をご覧ください。

特長 3 ライセンス管理ソフトウェアでライセンスを一括管理

管理者は、Webブラウザでライセンス利用状況のモニタリング、ライセンス利用状況/クライアント接続状況のログ出力、ユーザー権限/ライセンス持ち出しモジュール/最大持ち出し日数などの管理が可能です。

特長 4 ライセンス持ち出し機能

ネットワーク環境から一時的に切り離しての利用が可能。外出や出張などサーバーと接続ができない場合でも、Vectorworksをご利用できます。持ち出し期間は最長30日まで設定が可能です。

ネットワーク版ライセンスの適している場面

予算の関係上、パソコン台数分の導入が難しい

総務担当者

社内にあるパソコン台数分のライセンスを購入しなくてもライセンスの同時稼働数の購入で済むので、費用を抑えることができます。また、6ライセンス以上からボリュームディスカウントが適用されます。

導入ライセンス数は「同時稼働数」でOK

社内にあるパソコン台数分のライセンスを購入しなくてもライセンスの同時稼働数の購入で済むので、費用を抑えることができます。また、6ライセンス以上からボリュームディスカウントが適用されます。

ライセンス利用状況を把握しきれない

IT管理者

汎用Webブラウザを介してライセンスの稼働状況の監視ができます。ライセンス利用状況/クライアント接続状況のログ出力もできるので分析にも役立ちます。

Webブラウザでライセンス利用状況をモニタリング

汎用Webブラウザを介してライセンスの稼働状況の監視ができます。ライセンス利用状況/クライアント接続状況のログ出力もできるので分析にも役立ちます。

専門機能を必要な時だけ使用したい

CAD設計者

専門機能を付加するネットワーク版モジュール製品は最低限の数だけ購入すれば、必要な時に使い回すことが可能です。

必要な専門機能(モジュール)を効率的に使用

専門機能を付加するネットワーク版モジュール製品は最低限の数だけ購入すれば、必要な時に使い回すことが可能です。

SUPERCHARGE YOUR WORKFLOW



設計者のワークフローを加速する

Vectorworksのインターフェイスは直感的で分かりやすく、そして作図しやすい環境を提供しています。基本パレットには作図ツール、ツールセットには作図補助やモデリングツールが格納され、デザイナーは素早くツール群にアクセスしデザインワークに移れます。

各Vectorworks製品は固有の作業画面を備えており、業界に合わせて一連のツールとコマンドが用意されています。一般的な2Dでの描画や3Dでのモデリングに必要な基本機能をはじめ、図面によって異なるニーズに対応するために、複数の作業画面を作成することも可能です。

VectorworksはCADであり、BIMツールであり、モデラー、レンダラー、そしてプレゼンテーションツールでもあります。デザイナーの設計環境に応えるソフトウェア、それがVectorworksです。

デザインワークを支えるテクノロジー

作図/モデリングエンジンには、製造系CAD/CAMの多くで使用されている、高精度な図形表現が可能な「Parasolidモデリングカーネル」を採用しています。アニメーションエフェクトや高速なズームイン/ズームアウトなどを実現する描画エンジンには、「Vectorworks Graphics Module (VGM)」を使用しています。レンダリングエンジンにはCinema 4Dフィジカルレンダリングエンジン「Cineware R26」が搭載されており、高速で高品質な3Dビジュアライズ機能を提供しています。

ホームスクリーン/クイック検索/メッセージセンター/Vectorworksアカウント **NEW**

家のアイコンをクリックするとホームスクリーンが表示されます。虫眼鏡のアイコンをクリックするとクイック検索が起動します。使いたいツールやコマンドの名前を入力することで、目的の操作を素早く行えます。ベル型のアイコンは、アップデート情報やヒント、トレーニング、イベント情報などの通知機能です。クリックするとメッセージ内容を確認できます。また、Vectorworksアカウントへサインインすることで、米国Vectorworks社のWebサービスにアクセスが可能です。



01 基本パレット

基本パレットには、「直線」や「四角形」ツールをはじめ、さまざまなオプションが集約された作図ツールと「フィレット」や「トリミング」ツールなどの編集ツールが搭載されています。多くのツールは2D図形だけでなく、3Dモデルの作図/編集にも対応しています。

04 マルチビューウインドウ

図面と3Dモデルの正面/側面/斜め等、複数の方向から同時に確認をしながらの設計作業が可能です。クラスやレイヤの表示設定を自由に切り替えて必要なビューウインドウを設定でき、一度に複数のデザインレイヤやビューポートを確認できます。また、作業領域を確保するためにメインモニターとサブモニターに分けることも可能です。

02 ツールセットパレット

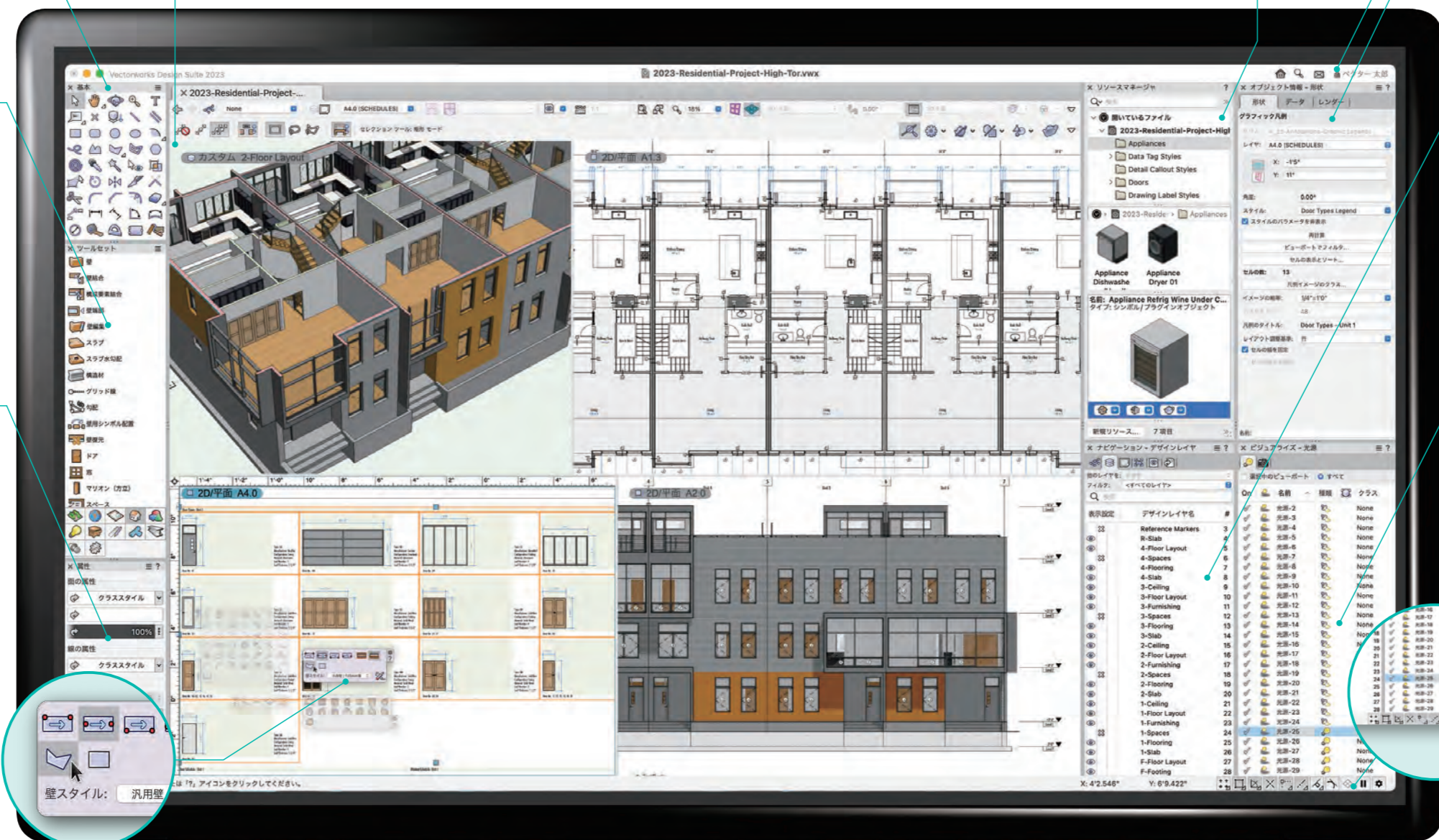
ツールセットパレットには、2D/3D対応の寸法ツールが集約された「寸法/注釈」やモデリングツールが集約された「3D」など、機能別のツール群が収納されています。Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteでは、建築設計向けの「建物」や造園計画向けの「敷地計画」、舞台照明計画向けの「照明」などのツールセットが搭載されており、それぞれを切り離れたフローティングパレットとして使うことも可能です。

03 属性パレット

線や面図形に、線種や色/ハッチング/グラデーション、不透明度/ドロップシャドウなどを設定できます。各種設定はポップオーバーで表示されるので、作業を妨げることがありません。

スマートオプションディスプレイ

マウスカーソルのすぐそばにツールを表示する、スマートオプションディスプレイはカスタマイズでき、よく使うツールセット、最後に使ったツール、ツールモード、ビューなどへ少ないマウスクリックで簡単にアクセスが可能です。



05 リソースマネージャ

シンボル図形、テキスト、ハッチング、スタイルなど多くのリソースライブラリを視覚的に一元管理することができます。利用中の製品で使用可能なライブラリを、インターネットを通じて追加・更新することも可能です。また、頻繁に使用するライブラリを「お気に入り」に指定することで、効率よく作業を行えます。

06 オブジェクト情報パレット

オブジェクト情報パレットでは、選択した図形に関連する高さや幅、座標、図形が属するクラスやレイヤなどの情報をはじめ、レコード、テキストなど、さまざまなオブジェクト情報が表示されます。基本図形情報のほか、建築などの専門オブジェクトでは、関連する詳細なパラメータ情報を表示します。

07 ナビゲーションパレット

ナビゲーションパレットでは、クラスやレイヤ、ビューポート、登録画面、ファイル参照などの図面要素に簡単にアクセス/操作でき、新規作成や削除も可能です。さらに図面上の選択図形のクラスやレイヤをナビゲーションパレット上で選択したクラスやレイヤに右クリック（コンテキストメニュー）から割り当てすることも可能です。*Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteでご利用いただけます。

08 ビジュアライズパレット

ビジュアライズパレットでは、図面上の光源やカメラを選択したり、光源ごとの点灯/消灯や影の有無の変更やカメラ視点を切り替えることができます。右クリックで詳細情報にアクセスし、例えば、カメラのフィルムサイズや縦横比、被写界深度や露出を変更することも可能です。

スナップセット

図形へのスナップをコントロールするスナップセットが搭載されています。線が重なる状況下でもマスタースナップポイントによって、優先度の高いポイントへスナップします。設定はポップオーバーで素早く切り替えられます。

WHAT'S NEW 2023

Vectorworks 2023 新機能

Vectorworks 2023は、ユーザーエクスペリエンスの強化とパフォーマンスの向上によって、ワークフローを加速します。3Dモデリングのオプションが追加され、少ないステップでさまざまなモデルを作成できます。シェイドレンダリングは表現豊かになり、設計者のビジュアライゼーションをサポートします。またVectorworks Graphics Moduleの活用により、断面ビューポートの更新が最大6倍高速化^{※1}(当社比)され、更新プロセスのバックグラウンド処理を実現しました。



Vectorworksの各バージョンで搭載された機能は、こちらをご覧ください。

<https://www.aanda.co.jp/whatsnew/updates.html>



PRODUCT MARK

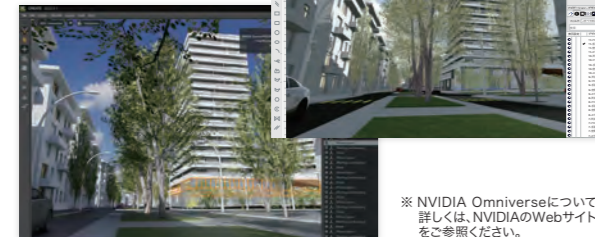
- F Fundamentals
- A Architect
- L Landmark
- S Spotlight
- D Design Suite

各ページ内の説明には、その機能を搭載している製品を各プロダクトマークで表記しています。グレーのマークは、同機能が搭載されていない製品です。また、特に記載がない場合でもDesign Suiteにはすべての機能が搭載されています。

USD対応とOmniverseコネクター

3Dジオメトリ、テクスチャ、ライト、メタデータをサポートするUniversal Scene Description (USD) ファイルフォーマットを使用したコラボレーションが可能になりました。USD対応に合わせて、メタバースアプリケーションを構築・運用するためのオープンプラットフォームであるNVIDIA Omniverse[※]と、Windowsユーザー向けの新しいダイレクト接続を実現するOmniverseコネクターを搭載しました。

F A L S D NEW

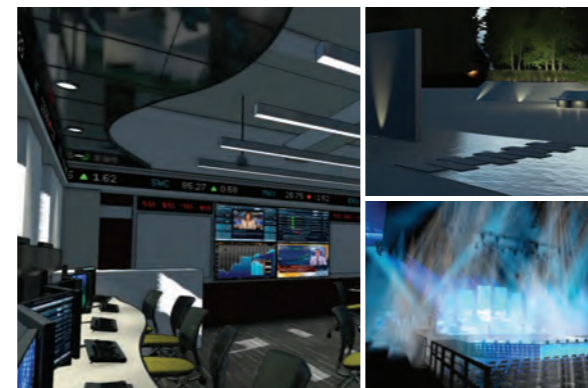


※ NVIDIA Omniverseについて詳しくは、NVIDIAのWebサイトをご参照ください。

新しいシェイドレンダリング設定

シェイドレンダリングモードは、より多くの光源オブジェクト、グローテクスチャ、環境光、反射をサポートしました。設計中にプロジェクトをさらに理解するためのリアルタイムプレビューとして機能し、より質の高いレンダリング表現を提供します。

F A L S D NEW



ドアと窓のダイレクトモデリング

建築オブジェクトのパラメータを定義するのに苦労した日々は過去のもので、ドアと窓のダイレクトモデリングと編集機能によって、3Dでは壁の面に長方形を、2Dでは配置したい場所に線を引くだけでドアと窓を作成できるようになりました。また、おなじみの変形ツールと同じ操作で、ドアや窓を簡単にリサイズできます。

F A L S D NEW



より高速な断面ビューポートの生成

断面ビューポートの改善により、図面作成ワークフローが効率化されました。Vectorworks Graphics Moduleを活用し、計算や処理をバックグラウンドに移すことができるようになりました。ビューポートの更新が最大6倍^{※1}速くなり、同時に他の作業も続けることが可能です。

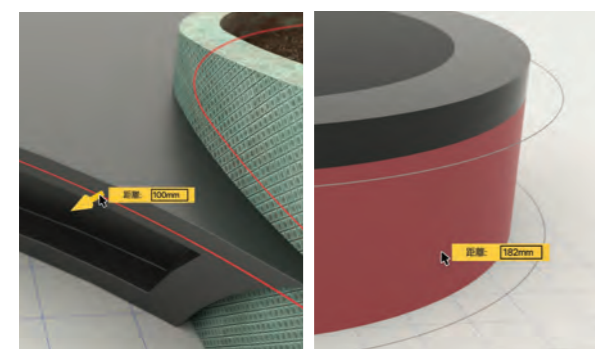
F A L S D NEW



辺のオフセットツール

新しい辺のオフセットツールでは、平面および曲面から任意の辺、および関連する辺をオフセットできます。辺のオフセットツールには、3Dオブジェクトの曲面にも使用できるプッシュ/プルモードも含まれており、クリエイティブなプロセスの柔軟性を高め、モデリングに要する時間と手間を削減します。

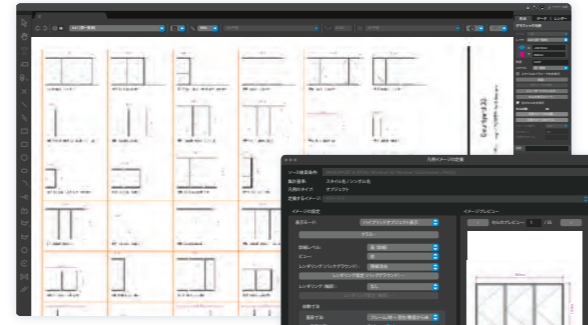
F A L S D NEW



グラフィック凡例

グラフィック凡例ツールで時間を節約し、一覧表のエラーを減らしましょう。建具表をはじめとする各種一覧表を作成するために、手動プロセスを完全に排除するスマートなツールを提供します。グラフィック凡例のスタイルはリソースとして保存でき、使用したリソースと自動的に連携するため、編集やカスタマイズが簡単に行え、図面用の凡例の精度を確保できます。

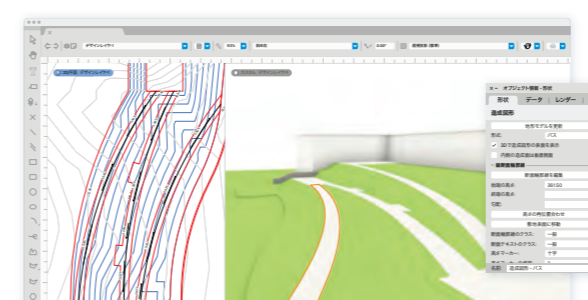
F A L S D NEW



造成図形と舗床の改善

造成計画と地形モデリングに費やす時間を減らし、デザインにより多くの時間を割くことができます。Vectorworksの造成図形の改善により、「位置合わせ」「パス形式」「パス形式(境界線)」などの新しい造成モードを搭載しました。法面を含んだ複雑な造成プロジェクトをより良くコントロールし作成できます。2023 SP4で搭載された舗床の「ドレープモード」は、地形表面に沿わせることができ、これまでよりも柔軟な歩道や園路をモデリングできます。

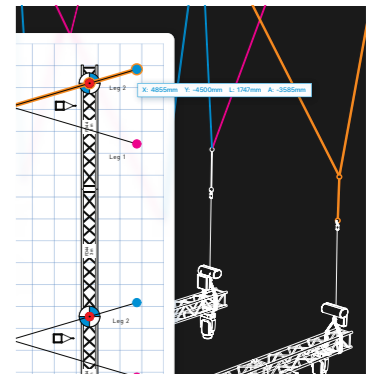
F A L S D NEW



リギングワークフローの改善

Vectorworks Spotlight 2023では、リギングの設計と計画がより簡単になりました。ホイストとプライダルオブジェクト間のさらなる統合によって、一貫性のある管理しやすい図面が作成できます。2本足のプライダルは動作の一貫性を保つために更新されました。また、シンボルベースのトラス接合部オブジェクトの操作性が向上したことで、ワークフローの多くが改善されます。

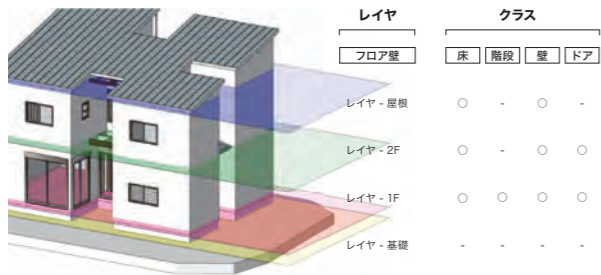
F A L S D NEW



※1 MacBook Pro Core i9 (32GB RAM, 8GB VRAM) 上にて50個のビューポートを更新。Ver.2022: 約74分、Ver.2023: 約12分。
※2 MacBook Pro Core i9 (32GB RAM, 8GB VRAM) 上にて35個のビューポートを更新。Ver.2022: 約100GB、Ver.2023: 約20GB。

BASIC DESIGN 基本作図機能

01 ファイル構成



レイヤ・クラス

Vectorworksには、ドローイングソフトで馴染みのある「デザインレイヤ」に加え、部材の種類分けなどに利用できる「クラス」を持っています。レイヤとクラスをうまく使い分けることで、プロジェクト内の各オブジェクトを自由に仕分けすることが可能です。建物を例にとると、各階をレイヤで分け、建材ごとにクラスを割り当てます。こうすることで、「1階の壁」や「2階の床」といった具体的なオブジェクトの指定ができます。

ビューポート・シートレイヤ

モデルを図面化するのに必要なのが「ビューポート」と「シートレイヤ」です。デザインレイヤ上で作図・モデリングしたものを、表示状態を維持したままビューポートとしてシートレイヤに作成します。ビューポートはデザインレイヤ上のオブジェクトを参照しています。設計変更の場合は、デザインレイヤのオブジェクトを修正することで、シートレイヤの図面（ビューポート）を更新して最新状態にできます。

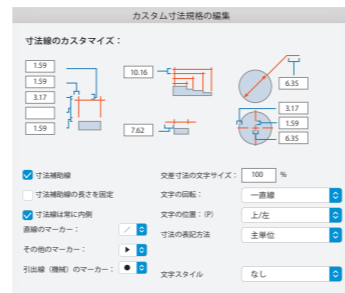


オーガナイザダイアログ

「登録画面」や「ファイル参照」など、Vectorworksファイルを構成する要素があります。これらを「オーガナイザ」ダイアログで管理します。各要素の詳細設定だけでなく、ファイル内での表示設定もこのダイアログで定義できます。

単位・寸法設定

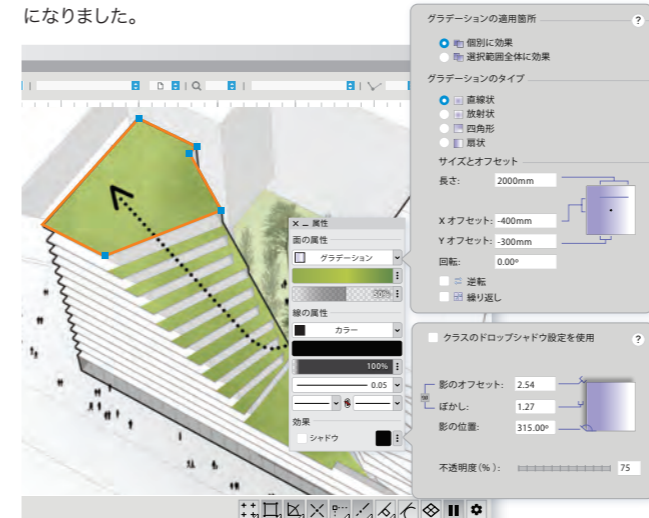
Vectorworksでは作図に必要な「単位」や「寸法規格」を設定でき、ご利用状況に合わせたカスタマイズが可能です。レイヤやクラス、単位や寸法規格などファイルに必要なものを設定し、「テンプレート保存」することで新しいプロジェクトを設定済みのテンプレートから開始できます。



03 グラフィック表現

属性設定 UP

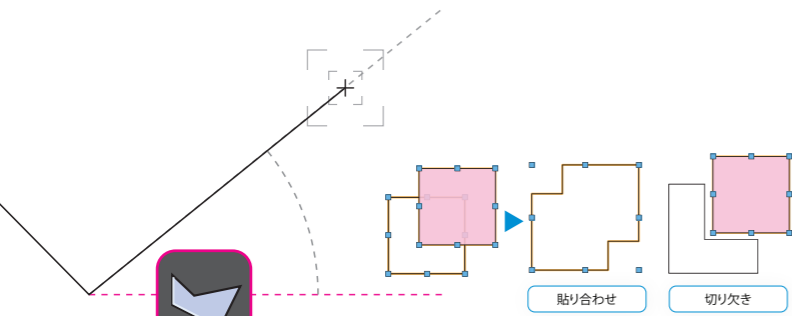
線図形と面図形は、その属性として「ラインタイプ」や「カラー」「ハッチング」「グラデーション」「イメージ」などを定義できます。また、RGB、HSV、CMYKでの色指定が可能のほか、「不透明度」や「ドロップシャドウ」を表現でき、表情豊かなプレゼンテーションを支援します。バージョン2023ではカラーパレットが改善され、より柔軟に色を選択できるようになりました。



イメージエフェクト機能

取り込んだ画像の表示したい部分だけをクロップできるため、プレゼンテーションボードのカラーズなどにも利用可能です。さらにイメージエフェクト機能により、露出やコントラスト、彩度や色温度など主要なパラメータを調整できるので、画像編集ソフトは必要ありません。

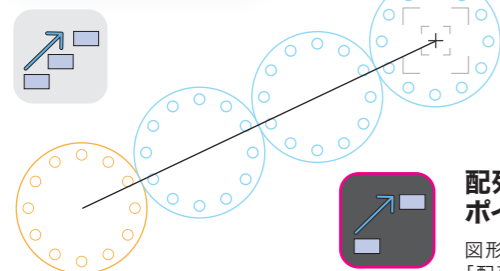
02 2D作図と加工



基本作図

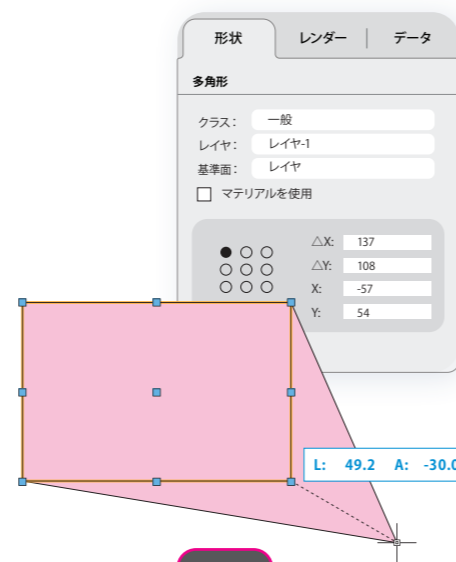
Vectorworksでの作図は直感的です。作成したい図形のツールを選択し、画面上でクリックすることで作成できます。直線以外の図形はすべて面属性を持っているため、フローリングの上にテーブルを作成する場合、隠れる部分を削除することなく、テーブル図形を重ねるだけで表現できます。また図形同士の重なり順や切り貼りによって、シンプルな形状から複雑なものまで作成可能です。

均等配置モード 複製の数:3



配列複製・ポイント間複製

図形を繰り返し並べたい場合は、「配列複製」や「ポイント間複製」が効率的な作業をサポートします。



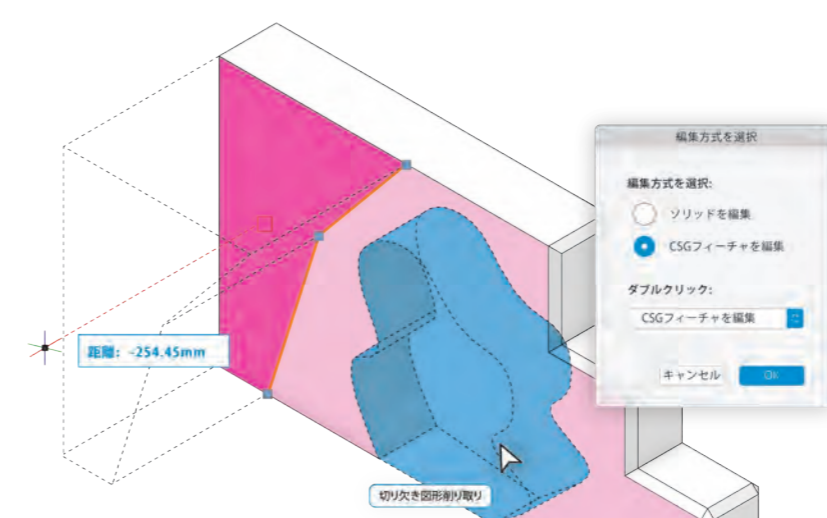
変形ツール

「変形」ツールを使うことで、任意の頂点や辺を移動し、細やかな編集作業ができます。各オブジェクトは縮尺に応じたサイズを持っているため、作図前、作図途中、作図後を問わず数値による指定が可能です。

04 3Dモデリング

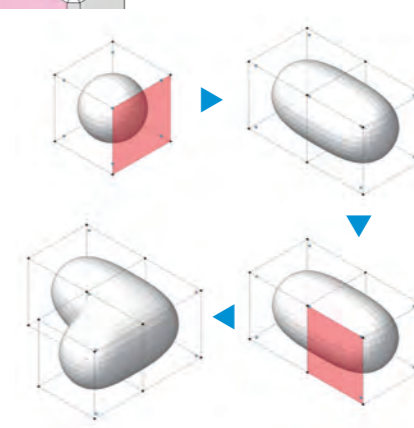
3D オートブレン機能

2Dの基本作図ツールで描いた作図面を持ち上げてそのまま3D化でき、2D作図と同様に直感的なモデリングを実現します。オートブレン機能によって3D空間内のあらゆる面を基準にモデリングできます。作成したモデルは噛み合わせたり削り取ったりすることで、より詳細なモデルにできます。また「テーパ」や「デフォーム」を使って、ひねったり曲げたり自在に編集可能です。



NURBS曲線・曲面 UP

自由曲面はNURBSを利用します。空間内の複数のNURBS曲線をつなげることで3D曲面を作成でき、任意の値を指定してソリッド化もできます。2023 SP4では変形ツールに3Dドラッカーが搭載されました。より直感的、効率的に編集できます。



サブディビジョンサーフェス機能

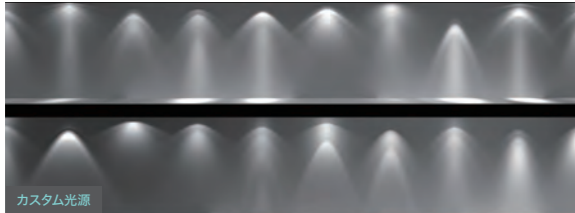
VectorworksにはPixar社のオープンソースプロジェクト「OpenSubdiv」を利用した「サブディビジョンサーフェス」機能も搭載されています。プリミティブな形状から、あるいはソリッドオブジェクトから滑らかな曲面を持った3Dモデルを作成可能です。滑らかさも5段階で調整できます。

BASIC DESIGN 基本作図機能

05 レンダリング

レンダリング

3Dモデルのプレゼンテーションにはレンダリングが重要です。素材を表現する「テクスチャ」は色や反射、透明度や凹凸を設定できるほか、Cinema 4Dのテクスチャを取り込むことも可能です。



光源ツール

シーンを明るくする「光源」はスポットライトや点光源に加え、市販の照明器具の配光データ (IES) を活用できるカスタム光源を利用できます。



シーンレンダリング

シーン全体の効果には「環境光」や「間接光」を活用し、影の表現には「ソフトシャドウ」や「アンビエントオクルージョン」を指定することで、奥行きをもたせたシーンレンダリングを実現します。



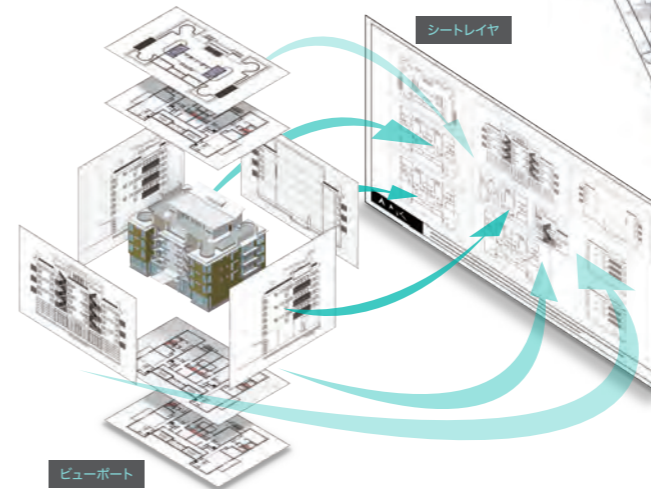
幅広い表現と視点の設定 UP

レンダリングエンジンは「Cineware R26」と「Redshift」を搭載し、リアリスティックから手描き風まで幅広いレンダリングに対応します。Redshiftはバージョン2023からCPUにも対応しました。特定の角度には「レンダーカメラ」を配置することで、素早く視点移動ができ、カット割りの検討にも役立ちます。

07 プレゼンテーション

プレゼンテーションシート

デザインをまとめ上げる場所は「シートレイヤ」です。デザインレイヤ上のオブジェクトを「ビューポート」として配置し、注釈などを追加しながら設計図書を作成することができます。画像の配置も可能で、プレゼンテーションボードとして利用可能です。ビューポートはデザインレイヤと連動しているため、設計変更の場合は、ビューポートを更新するだけです。



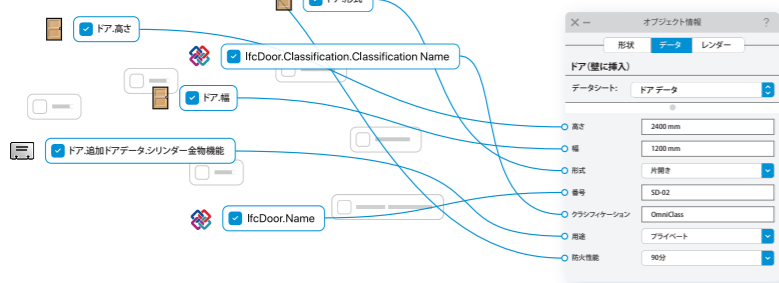
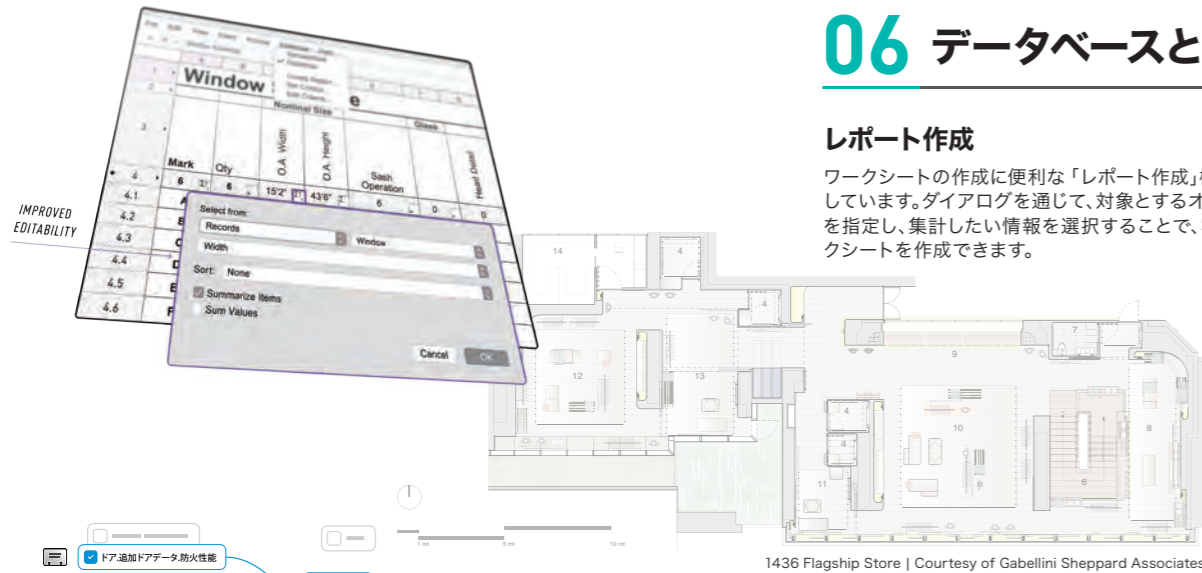
デジタルプレゼンテーション

Vectorworksはデジタルプレゼンテーションにも長けています。「ウォークスルーアニメーション」はもちろん、没入感を体感できる「パノラマレンダリング」、敷地写真と3Dモデルを合成できる「Camera Match」を利用できます。

06 データベースと収集

レポート作成

ワークシートの作成に便利な「レポート作成」機能を搭載しています。ダイアログを通じて、対象とするオブジェクトを指定し、集計したい情報を選択することで、容易にワークシートを作成できます。



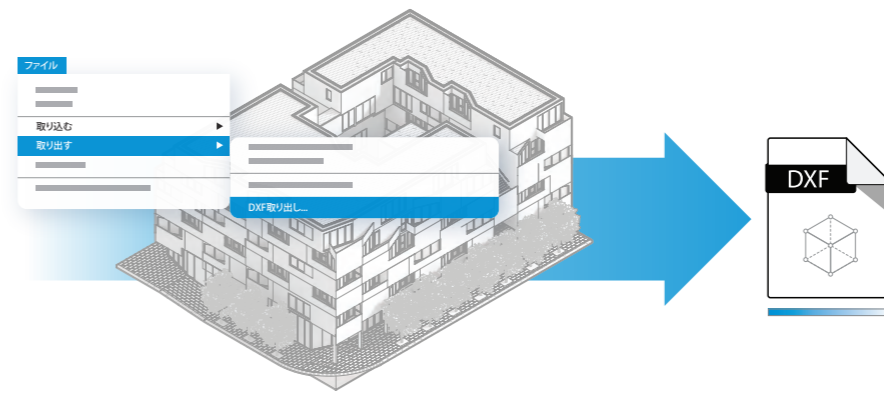
レコードフォーマット

Vectorworksのあらゆるオブジェクトには、設計者が「レコードフォーマット」を使って任意のデータを割り当てることができます。割り当てられたデータはオブジェクト情報パレットで適宜修正でき、「ワークシート」に集計可能です。またオブジェクトと双方向に連動するデータベースとしても活用でき、ワークフローのどこでも設計に関わる情報を可視化できます。

08 データ互換

取り込み・取り出し UP

DXF、DWG、さらにDWFといった汎用CADデータの取り込み/取り出しができ、3DモデルとしてはOBJ、STEP、STLなどに対応しています。さらにVectorworks 2023では、JWデータの取り込み/取り出しも標準対応となりました。またワークシートはExcel形式の取り込み/取り出しが可能で、Vectorworksで作成した一覧表を表計算アプリケーションに渡すことができます。



プレゼンテーションデータ互換

プレゼンテーションのデータ互換としては、Cinema 4D形式への取り出しのほか、リアルタイムレンダリングソフトウェアのTwinmotion、Lumion、Enscapeとのダイレクトリンクを活用可能です。





ARCHITECTURE & INTERIOR DESIGN

建築・インテリア設計支援機能

Vectorworks Architectは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ(テクスチャマッピング/レンダリング等)機能に加え、建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的な建築・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。

Bern 131 | Courtesy of Atelier 5

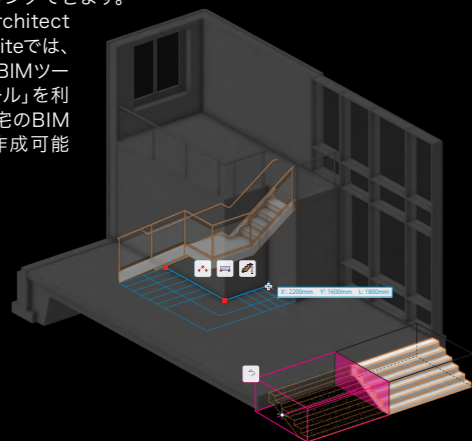
01 階高設定と空間プログラム

階高を定義するストーリー機能によって、各階のFLを設計GLからの高さで決定できます。さらに1つのフロア内に存在する、天井や腰壁天端などのさまざまな仕上げのレベルも内包できます。建築オブジェクトは仕上げレベルに連動するため、ストーリー設定で数値を変更するだけで自動修正されます。建築で重要な空間プログラム機能も搭載されています。スペースツールによって、それぞれの部屋の名前や天井高を定義でき、ワークシートに面積表として集計可能です。スペーススタイルを利用すると、モデリングの省力化と容易な管理が実現します。



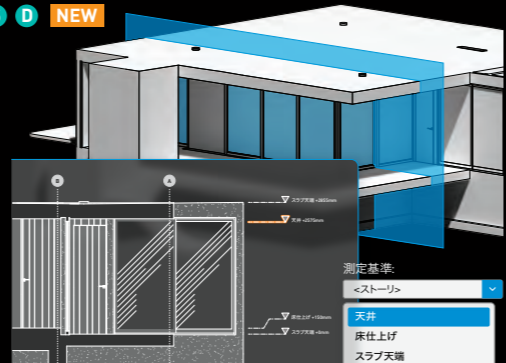
02 建築モデリング

すべての建築オブジェクトは、2D/3Dのハイブリッドオブジェクトなので、図面表現と3Dモデルを同時に作成できます。複数材料で構成される壁やスラブ、屋根をスタイルとして設定できます。各種スタイルはリソースとして保存されるため、社内で共有が可能です。躯体以外にも階段や手摺などの数値設定が可能なツールが充実しているため、素早くモデリングできます。Vectorworks ArchitectまたはDesign Suiteでは、無償提供の「木造BIMツール」「木造建具ツール」を利用し、在来組住宅のBIMモデルを簡単に作成可能です。



03 柔軟な設計図書作成

平面図をはじめ、建築設計に必要な断面図や立面図、展開図や詳細図を作成できます。(展開図はArchitect, Design Suiteのみ) 各図面はビューポートとしてシートレイヤに配置され、自動で図面ラベルを設定することも可能です。断面図や展開図の図面マーカーは、それぞれの図面とリンクしているため、3Dモデルから直接図面に移動できます。バージョン2023ではレベル基準線が搭載され、断面図や立面図に必要なフロアレベルのラベルを自動で表示できるようになりました。



LANDSCAPE & URBAN PLANNING

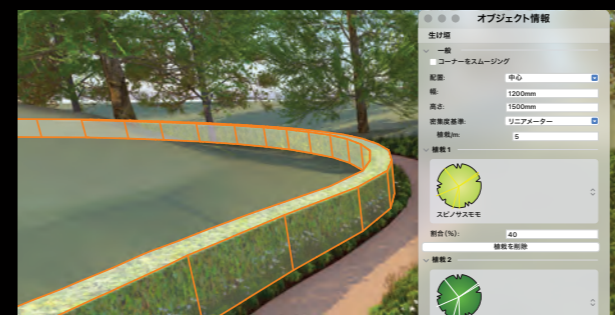
都市計画・ランドスケープデザイン支援機能

Vectorworks Landmarkは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ(テクスチャマッピング/レンダリング等)機能に加え、地形モデルや多彩な植栽、灌水設備計画等に対応するランドスケープデザイン機能、さらには豊富な造園向けのデータライブラリを搭載した都市計画/造園業界向け製品です。

Salesforce Transit Center | Courtesy of PWP Landscape Architecture and Marcus Nuñez

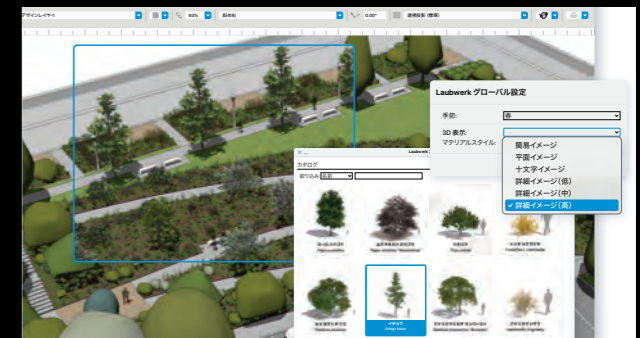
01 柔軟なランドスケープデザイン

作成した敷地形状や等高線からだけでなく、数値地図データや測量データ、点群データなどを取り込み、現況の地形モデルを作成できます。さらに造成面や法面を指定することで、計画地形を作成可能です。現況と計画の差分から土量を算出でき、施工計画に役立ちます。園路や植込み部分も地形モデルに合わせて作成できるので、思い通りのランドスケープデザインを再現できます。Landmark, Design Suiteのバージョン2023では生け垣ツールが搭載され、複数植栽を定義でき、地形モデル表面にシームレスに沿わせることができるようになりました。



02 植栽計画

LandmarkとDesign Suiteのバージョン2023では、2D/3Dで表現できる植物を多数搭載。学名や樹種名などが収録されているデータベースから、図面上に注釈表記も可能です。3D表現では、樹高や枝張りを設定できるので、未来予想図を提案できます。さらに、樹木調査データを取り込み、既存樹木の作成も可能なので、現況調査から計画までのワークフローを円滑にします。また、詳細度や季節、成長表現を設定できるLaubwerkブランドツールが搭載されました。(Architect, Spotlightでは樹種が限定)



03 エクステリアデザイン

門扉やフェンスなどの専用ツールやオブジェクトを搭載。テクスチャを割り当てて、みす垣なども表現可能です。また、太陽光設定で時刻を設定し、屋外照明器具でライトアップされたパースを作成できます。さらに、ガーデンテーブルや椅子などのエクステリアを表現する豊富なライブラリが搭載されています。これらは2D/3Dのハイブリッドオブジェクトなので、図面にもパースにも活用できます。



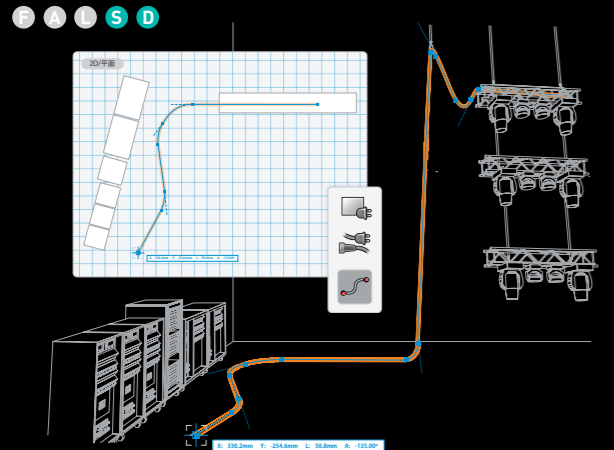
STAGE LIGHTING & STAGE PLANNING

ステージ・舞台照明計画支援機能

Vectorworks Spotlightは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ(テクスチャマッピング/レンダリング等)機能に加え、ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能。さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンタテインメント業界向け製品です。

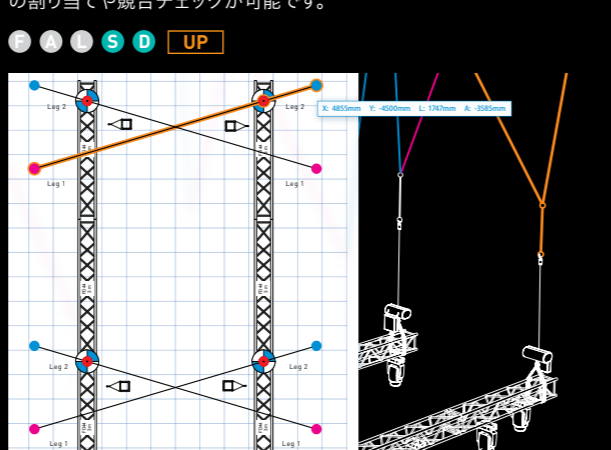
01 イベント・ステージデザイン

イベント計画用の専用コマンドとツールでイベント会場に必要なオブジェクトを素早く作成・配置できます。自由形状のステージも2D形状をトレースするだけで完成です。また、ステージ機器を接続するためのケーブルツールも搭載しているので、必要なワイヤーの長さや固定点を正確に把握できます。4,000種類以上のメーカー製照明器具が搭載されています。各器具には、明るさや重量、照射角度が設定されているので、必要な情報を集計し確認できます。照明器具はDMXバッチコマンドでUniverseやChannelの割り当てや競合チェックが可能です。



02 専門的なリギング・照明計画

メーカー製トラスを選択し、複雑なデザインのトラスを自由に組むことができます。ジョイントやトラス接合パーツを使うことで、よりリアルな表現が可能です。トラスを天井から吊るためのホイストやプライドルも配置できるので、必要なワイヤーの長さや固定点を正確に把握できます。4,000種類以上のメーカー製照明器具が搭載されています。各器具には、明るさや重量、照射角度が設定されているので、必要な情報を集計し確認できます。照明器具はDMXバッチコマンドでUniverseやChannelの割り当てや競合チェックが可能です。



03 ビジュアライザーとの連携

3DモデルをDXF、C4D、3DSなどに変換でき、業界で使われている各種ビジュアライザーで利用可能です。また、業界最先端の共通ファイルフォーマットMVRをサポートしているため、VisionをはじめとするビジュアライザーとGrandMA3などのコンソールとでデータ交換ができます。照明を含むリギングやステージデザインを、スムーズに受け渡すことができるので、これまでにないエンタテインメントワークフローが確立できます。



SIX | Courtesy of Tim Deiling and Pamela Raith

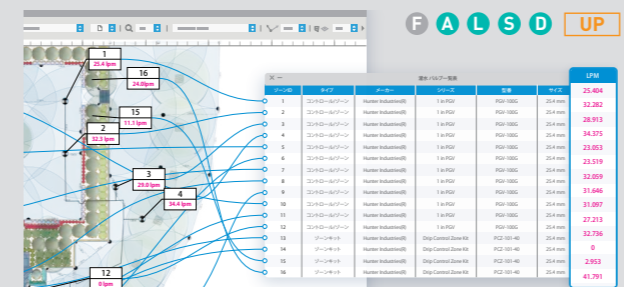
Architect・Landmark・Spotlight・Design Suiteに共通で搭載されている機能

ENHANCED DESIGN

拡張作図機能

素早い図面化を果たす強化されたデータタグ

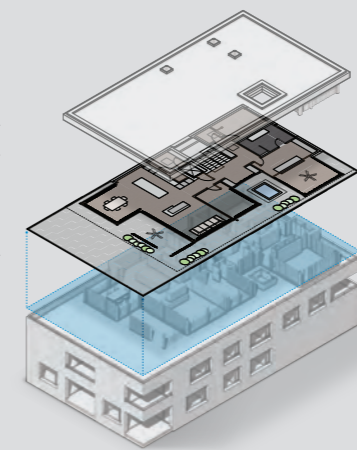
データタグは、3Dモデルやビューポートにあるオブジェクトやシンボルの情報を表示できます。個別に、または自動的に複数のオブジェクトをタグ付けし、グラフィック表示を自由にカスタマイズできます。また、データタグの情報をワークシートに集計することも可能です。Vectorworks 2023では、データタグの関連付けを変更したり、インスタンスごとに単位の表示を変えるなど、さらに柔軟な設定が可能になりました。



柔軟な図面表現が可能なビューポート

平面図だけでなく立面図、断面図を素早く取り出すことができます。

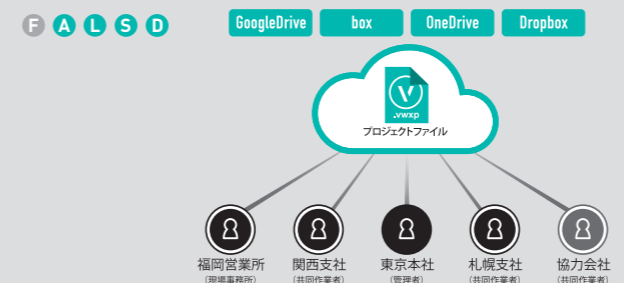
1. 断面図では、自由形状の3Dモデルでも建築オブジェクトと包絡処理でき、切断位置の手前や奥にあるオブジェクトの表示状態を設定することで、柔軟な図面表現が可能です。モデルを編集したい場合は、断面ビューポートをダブルクリックするだけです。
2. クリップキューブの切断面や立面記号、断面線から直接断面図を作成できます。各種ビューポートではオブジェクトの詳細度を選択でき、図面の表示レベルを制御できます。
3. 断面と展開図のビューポートでは、クラスごとのオブジェクト表示設定により、表現豊かな図面を作成できます。(展開図はArchitect、Design Suiteのみ)



協働設計

追加のソフトウェアやコストを必要とせず、共有設定をしたファイルをサーバーに置くだけでプロジェクト共有を開始できます。

1. シンボルやハッチング、壁スタイルなど共通して使うリソースは、ワークグループ機能を使うことで一元管理できます。参照元のファイルを変更するだけで、全員のリソースを更新することが可能です。
2. 社内サーバーを利用したプロジェクト共有の場合、プロジェクト共有サーバーを活用できます。



IFC参照で高速化するOpen BIMワークフロー

多くのファイル形式をサポートすることによって、さまざまなソフトウェアとの互換性を実現します。取り込むときはVectorworksのウィンドウにドラッグ&ドロップするだけです。

バージョン2023では、IFC取り込みが高速化されるとともに、フィルタリングによる新しいオプションで管理が容易になりました。さらにマッピング機能によって、Vectorworksのファイル構成と一致させながら取り込むことが可能です。



作業効率の向上

設計における作業環境を向上させる機能を搭載しています。印刷やファイルの取り出しではパブリッシュが活躍します。

1. シートレイヤや登録画面を一括でDXFやDWG、PDFや画像に取り出すことができ、一括印刷も可能です。
2. 画面の回転では軸の振れているプロジェクトでの設計効率を向上し、カラスキームを作成する場合は、データの可視化で好みの表現を手に入れられます。



提案力が向上したVRプレゼンテーション

バーチャルリアリティ (VR) 機能は、インターネットブラウザ、またはスマートデバイスを使用して設計した空間の中に入り、移動できる仮想空間体験を提供します。

1. VRゴーグルなどで体験できるバーチャルリアリティ機能「Webビュー(3D)取り出し」では、カスタムロゴやホワイトモデル出力、アンビエントオクルージョンに対応しています。
2. 2週間保存可能な仮置きサーバーに加え、Vectorworks Cloud Servicesサーバー、および同サーバーと同期したDropboxにも保存が可能です。

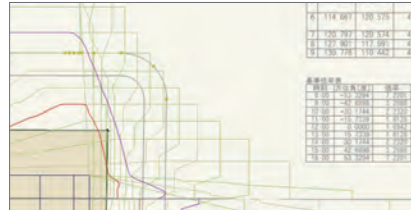


ADDITIONAL SERVICE

プラグイン・関連製品

PLUGIN SOFTWARE

ADS-BT for Vectorworks



Vectorworks上で建築設計における斜線制限と逆日影計算・等時間日影計算・天空率計算などの高さ制限解析をサポートするVectorworksプラグインです。(開発:生活産業研究所株式会社)

スタンドアロン版/ネットワーク版 (年間サポート契約バンドル) **207,900円**

VWbase



図面からサムネイル画像と文字列を抽出しながら図面データベースを作成する、図面管理データベースシステムです。図面文字列を対象に、分類による絞り込み、並び替え等の機能を搭載しています。(開発:株式会社 治郎吉商店)

シングルライセンス版 **33,000円**

その他無償提供プラグイン

- 平均地盤面計算ツール
- カラー情報ツール
- 連続編集ツール
- 墨ツール
- 配管パスツール
- 接円・周長円ツール
- DICカラーパレット
- 懸垂線ツール
- スイッチ・コンセントツール
- 放射状複製ツール
- 構成要素注釈ツール
- 関数曲線ツール
- 3Dパスオフセットツール

VECTORWORKS SERVICE SELECT

Vectorworks Service Selectは、Vectorworksご利用ユーザーのための年間保守サービスです。契約期間中、Vectorworksカスタマーポータルにて、さまざまなサービスを提供します。

- ソフトウェアアップデート
- 旧バージョンの使用許諾
- テクニカルサポート
- インターネットLiveサポート
- Vectorworks University
- セミナー価格の優遇
- Vectorworks Cloud Services

詳しくはこちら <https://www.aanda.co.jp/VSS/index.html>



VECTORWORKS 2023 評価版

Vectorworks製品を導入する前に、ご使用のパソコン上で正常に動作するか評価版を使用して確認することをお勧めします。評価版ではVectorworks Design Suite 2023の性能・機能をお試しいただけます。

ダウンロードはこちら www.aanda.co.jp/ct/dl_experience.html



※表記価格は消費税を含んだ税込価格です。

Vectorworks素材集 3D植栽編



情感豊かな植栽表現を可能にする3D素材集。パースに季節感をだすことができる「常緑樹」「落葉樹」「低木」「草花」など使いやすい植栽をバックにしました。(開発:株式会社ユニマトリック)

33,000円

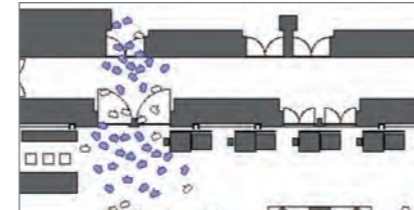
木造BIMツール



在来軸組木造用のBIMツールです。専用ツールで作成される柱や筋交い、梁、桁は、ストーリーのレベル高に追従させることができ、筋交いは、部材の長さから壁実長が計算され、タイプから壁倍率が自動計算される機能を搭載しています。

※ Vectorworks Architect または Design Suite で無償にてご利用いただけます。

SimTread



これまで困難だった"人の流れ"や"群集の波"を、Vectorworks上で簡単に視覚化するプラグインです。建築物や大型イベント等における誘導計画や船舶、旅客機などの避難シミュレーションを可能にします。

スタンドアロン版/ネットワーク版 **110,000円**

木造建具ツール



木造建築設計において日本の建具を配置、図面化できるプラグインです。日本の住宅設計でよく使用される建具を玄関ドアや室内ドアなど12のツールに集約。パラメータ変更によって100種類以上の建具(2D図面/3Dモデル)を再現できます。

※ Vectorworks Architect または Design Suite で無償にてご利用いただけます。

詳しくはこちら https://www.aanda.co.jp/ct/dl_pdl.html



LEARNING

Vectorworksを学んで、一步先のスキルを身に付ける

TRAINING



リアルセミナー

エアアンドエーセミナールームにお越しただいて開催するセミナーです。2D、3Dの基礎、建築図面、パース作成などの豊富な定例コースを用意して、弊社スタッフが習得のお手伝いをします。

詳しくはこちら www.aanda.co.jp/seminar/real/



カスタマイズセミナー

オーダーメイドの講習です。実務に沿った構成や、新入社員向けの講習など、お客様のニーズに合わせたカリキュラムをご提案します。Webを使った講習も受けられます。

詳しくはこちら www.aanda.co.jp/seminar/custom/



Vectorworks Design Blog

Vectorworksをより深く活用するための情報サイトです。Architect・Landmark・Spotlightの各プロダクトの解説講座や、実際に多く寄せられるご質問を、詳しく解説した記事を掲載しています。

詳しくはこちら bim.aanda.co.jp/blog/



Webセミナー

インターネット環境を使って開催するセミナーです。特定のセミナー会場まで足を運ばなくても、インターネットを通して講師の説明を受けながら、ご自宅やオフィスでVectorworksの操作演習ができます。

詳しくはこちら www.aanda.co.jp/seminar/web/



Vectorworks オープンキャンパス

全国各地で出張開催するセミナーです。操作体験セミナーや有料の操作習得のセミナー、普段お困りのことを何でもご相談いただける「よるず相談」を行います。お近くで開催の際はぜひご参加ください。

詳しくはこちら <https://www.aanda.co.jp/oc/>



Vectorworks 操作技能認定試験

Vectorworksの操作技能の向上や社会ニーズに適った技能者の養成を目指し、操作技能を客観的に評価できる基準のひとつとして、Vectorworksの国内総販売元であるエアアンドエーが主催し実施する操作技能認定試験です。

詳しくはこちら www.aanda.co.jp/exam/

SCHOOLS & STUDENTS



OASIS (オアシス)

Vectorworksを使った授業に取り組みされているみなさまのために設立された教育支援プログラムです。「デザイン時間をより多く」をモットーに、教育機関向けのVectorworks総合窓口として、全国のOASIS加盟校への支援サポート・サービスを提供しています。

詳しくはこちら www.aanda.co.jp/OASIS/



Vectorworks student2PRO

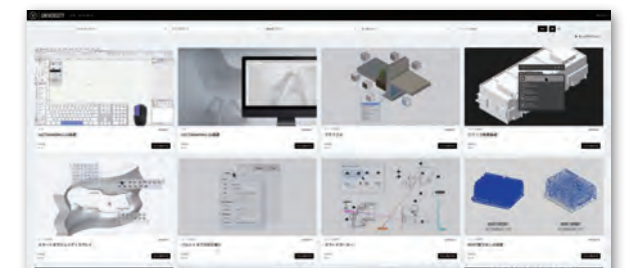
Vectorworksを設計のツールとして学ばれた学生のみなさまが設計者やデザイナーとなり、その培われてきた技能を継続していただくための支援プログラムとして、Vectorworks学生単年度版をご利用になられたみなさまにVectorworks製品を特別価格でご購入いただけるサービスです。

詳しくはこちら www.aanda.co.jp/student2pro/

VECTORWORKS UNIVERSITY

Vectorworksを学ぶためのコンテンツを集約した、総合的な学習用サイトです。はじめてVectorworksに触れる方向けの2D、3Dの基本操作の動画のほか、新たに搭載された機能のご紹介など、経験者でも便利なテクニックを学べるコンテンツ満載です。

詳しくはこちら <https://www.aanda.co.jp/univ/>



SYSTEM REQUIREMENTS

Vectorworks 2023 動作環境

条件を満たしていない場合、Vectorworksが正常に起動しない場合があります。
Vectorworksを快適にご使用いただくために、条件を満たしたパソコンでご使用になることを強くお勧めします。



スタンドアロン版 動作環境

スタンドアロン版 (永続ライセンス/サブスクリプション)			
	Windows	Mac	
OS	Windows 11 Windows 10 (64bit)	macOS 13 (Ventura) macOS 11 (Big Sur)	macOS 12 (Monterey)
	エントリー	ミドル(推奨)	ハイエンド
目安となるデータの規模	<ul style="list-style-type: none"> 2D図面 簡単な3Dモデリング 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細な2D図面 詳細な3Dのモデリング 小規模BIM レンダリング 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細な2D図面 非常に複雑かつ詳細な3Dモデリング 大規模BIM レンダリング
CPU	<ul style="list-style-type: none"> 3GHz以上のIntel Core i5 または AMD Ryzen 5、またはそれと同等以上のもの Apple M1以上 	<ul style="list-style-type: none"> 6コア以上搭載で2GHz以上の Intel Core i7 または AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの Apple M1 Pro以上 	<ul style="list-style-type: none"> 8コア以上搭載で3GHz以上の Intel Core i7 または AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの Apple M1 Max以上
メモリ	8GB以上	16GB以上	32GB以上
グラフィックス	以下の条件を満たすグラフィックカード <ul style="list-style-type: none"> Windows: DirectX 11互換、2GB以上のVRAM Mac (Intel): Metal GPUFamily1以上、2GB以上のVRAM Mac (Mシリーズ): M1 8GB以上 	以下の条件を満たすグラフィックカード <ul style="list-style-type: none"> Windows: DirectX 11互換、4GB以上のVRAM Mac (Intel): Metal GPUFamily1 v4以上、4GB以上のVRAM Mac (Mシリーズ): M1 Pro 16GB以上 	以下の条件を満たすグラフィックカード <ul style="list-style-type: none"> Windows: DirectX 11互換、8GB以上のVRAM Mac (Intel): Metal GPUFamily2以上、8GB以上のVRAM Mac (Mシリーズ): M1 Max 32GB以上
	※CPU内蔵グラフィックスは非推奨。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Intel Iris、Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeをご使用ください。Intel HD Graphics/UHD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。		
ディスク容量	43GB以上 (オプションライブラリ30GBを含む) フラッシュストレージ (SSD) にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。		
画面解像度	1440 x 900以上	1920 x 1080以上	
その他	<ul style="list-style-type: none"> インストール、アクティベーション、アップデートのためのインターネット接続環境が必要です。 ご使用にあたり製品のユーザー登録、Vectorworksアカウントの登録が必要です。 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 日本語OS環境をご利用ください。 Redshiftを利用するレンダリングはRedshift動作環境をご確認ください。 		

※記載されている情報は2023年3月現在のものです。より詳細な情報につきましては、弊社Webサイトをご確認ください。

Redshift動作環境

「Redshift by Maxon」レンダリングスタイルは、コンピューターのGPUとCPUを使用してフォトリアスティックレンダリングを実行します。動作要件を満たす場合、RedshiftはコンピューターのGPUをレンダリングに使用します。GPUが要件を満たさない場合は、コンピューターのCPUのみがRedshiftレンダリングの実行に使用されます。

GPUとCPUを使用				
	Windows		Mac	
	最小	推奨	最小	推奨
CPU	SSE2対応のプロセッサ (Pentium4以上)	3.0GHz以上のIntel Core i7 または Xeon、またはそれと同等以上のもの	Apple M1	<ul style="list-style-type: none"> 3.0GHz以上のIntel Core i7 または Xeon、またはそれと同等以上のもの Apple M1 Max以上
メモリ	8GB	16GB	8GB (CPUがM1の場合は16GB)	16GB以上 (CPUがM1 Maxの場合は32GB以上)
グラフィックス	8GB以上のVRAMを搭載したCUDA5.0以上のNVIDIAのシングルGPU	16GB以上のVRAMを搭載したCUDA7.0以上のNVIDIAのマルチGPU	Apple M1、もしくは8GB以上のVRAMを搭載したAMD Navi、あるいはVega以降のシングルGPU	Apple M1 Max以上、もしくは8GB以上のVRAMを搭載したAMD Navi、あるいはVega以降のマルチGPU
CPUのみ使用				
	Windows		Mac	
OS	Windows 10 (64bit) 以降		macOS 11.5 (Big Sur) 以降	
CPU	SSE2対応のプロセッサ以上 (Pentium4以上)		Apple M1 以上	
メモリ	8GB以上		16GB以上	

※記載されている情報は2023年3月現在のものです。より詳細な情報につきましては、弊社Webサイトをご確認ください。
※RedshiftをサポートしているAMD GPUについての情報は、弊社Webサイトをご確認ください。

ネットワーク版 動作環境

Vectorworks 2023 ネットワーク版 クライアント (永続ライセンス)		
動作環境	Vectorworks 2023 スタンドアロン版の動作環境に準じます。	
スタンドアロン版との差異	Vectorworksクライアントから直接インターネット経由のアクティベーションは行いません。	
Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア)		
	Windows	Mac
OS	Windows 11 Windows 10 (64bit) Windows Server 2012 R2以上	macOS 13 (Ventura) macOS 12 (Monterey) macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.13 (High Sierra)
起動認証方式	インターネット経由のアクティベーション	
CPU	Intel Core 2 Duo以上	
メモリ	4GB以上	
ディスク容量	40MB以上	
その他	<ul style="list-style-type: none"> サーバー専用のパソコンを推奨します。 アクティベーションのためのインターネット接続環境が必要です。 TCP/IPプロトコルが必要です。 100Mbps以上の速度のネットワーク回線が必要です。 サーバー/クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境が必要です。 ※サーバーとクライアントは同一ネットワーク上で使用してください。 サーバーアプリケーション管理のためのブラウザソフトが必要です。 ※サーバー管理画面は英語表記になります。 対応クライアントアプリケーション <ul style="list-style-type: none"> Vectorworks 2018~2023 ネットワーク版 Vectorworks 2015~2017 サイトプロテクションネットワーク版 Vectorworks 2014 ネットワーク版 シリーズG 	

セットアップガイド

スタンドアロン版向けのインストールから起動までを解説したガイドや、Vectorworksネットワーク版のサーバー、クライアントの設定手順を記載したガイド等、Vectorworksの設定をサポートするドキュメントを各種公開しています。

ダウンロードはこちらから www.aanda.co.jp/ct/dl_manual.html



最新の情報は弊社Webサイトをご確認ください。
<https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/vw2023.html>





VECTORWORKS®

A NEMETSCHEK COMPANY

2023.05

エーアンドエー株式会社

<https://www.aanda.co.jp>

製品に関するお問い合わせ

エーアンドエー営業部

一般の方：market@aanda.co.jp

販売店：aa_sl-team@aanda.co.jp

A&Aストア・オンライン

<https://store.aanda.co.jp>

お問い合わせは

A&A

Vectorworks、Renderworks、BraceworksとConnectCADはVectorworks, Inc.の登録商標です。SmartCursorとVectorScriptはVectorworks, Inc.の商標です。VisionはVectorworks, Inc.の製品です。すべての権利はVectorworks, Inc.が保有しています。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。その他記載されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Design Suiteを使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容は予告なく変更することがあります。

COVER: Bern 131 | Courtesy of Atelier 5

A&A Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 230501 DI/AI